

会議記録

会議等の名称	第3回幌延町民憲章制定委員会
実施年月日・時間	平成22年8月6日・午後2時00分～午後4時00分
場所	役場3F 委員会議室
出席者	制定委員：8名 幌延町：副町長以下4名

てん末事項

1. 委員長あいさつ

2. 協議事項

(1) 町民憲章の文案について

1) 前文について

事務局より、資料1により説明

※委員からの意見

- ・子ども達にも分かりやすい文章にしてはどうか。
- ・前文はこういう形のものが主体となっている。本文のほうをわかりやすくしてはどうか。
- ・中学生程度なら、この文章でもわかるのではないか。これ以上易しくするのは難しいのではないか。
- ・学校に掲示する時に、学校等で説明してもらってはどうか。あまり易しくしても、憲章としてはどうなのか。
- ・前文のあとに本文がくるので、憲章の前文としてはこの程度で良いのではないか。

委員会の付帯意見として「子どもにも分かりやすい文章をとの意見があった」旨を
付け、委員会としては改定案でいくこととする。

2) 本文について

解説の最後を、「目指します」に統一する

※3つめの本文の

- ・「笑顔が輝く」を「笑顔あふれる」にしてはどうか。変更する
- ・解説の「しかし、近年は…。今だからこそ、」は重い。削除する
- ・解説の「コミュニティづくり」を「まちづくり」にしてはどうか。変更する

※4つめの解説の、「総合体育館やスポーツ公園」「心象館など」とあるが、「生涯学習センター」は入れないのか。「町内のスポーツ・文化施設」とする

3. その他

事務局から：今回決まった素案をもって、議会常任委員会への報告、パブリックコメントを実施し、最終原案をその後の委員会で決定する。

以上

前文

①わたくしたちは、悠久の大河天塩川と^④広大な平野、豊かな森林に見守られて生きる幌延の町民です。

わたくしたちは、厳しい風雪に耐えて郷土の礎を築いた先人の労苦と、豊かな自然の恵みに感謝し、この町に生きることに誇りと責任をもち、協働の心で^⑤未来に飛翔するまちをつくるため、この町民憲章を定めます。

②わたくしたちは、日本海にそぞろ天塩川の流れと、広大なサロベツ原野、問寒別平野育まれ、北緯45度を吹く風と豊かな森林に見守られて生きる幌延町の町民です。

わたくしたちは、厳しい風雪に耐えて郷土の礎を築いた先人の労苦と、豊かな自然の恵みに感謝し、この町に生きることに誇りと責任をもち、^⑥協働の心で未来につなぐまちをつくるため、この町民憲章を定めます。

ご意見

- ①広大な平野、豊かな森林 → 広大な北の大自然
- ②厳しい風雪 → 厳しい自然
- ③未来に飛翔するまち → 未来に飛翔する北緯45度の町、幌延町

ご意見

- ④悠久の大河天塩川と → 清らかな天塩川の流れと
- ⑤郷土の礎を築いた先人の労苦と → 先人が築いた郷土の礎と
- ⑥協働の心で → 削除

※わたくしたちは、広大で豊かな自然に恵まれて、北緯45度に位置する町、幌延の町民です。

わたくしたちは、厳しい風雪に耐えて先人が築いた農地や産業を受け継ぎ、北の原野に親しみ、北の文化を育み、誇り高い町を、目指して、たくましく前進をつづけるため、この町民憲章を定めます。

ご意見

- ①が良いというご意見と、②が良いというご意見が1つずつありました。

改訂案

わたくしたちは、悠久の大河天塩川と広大な平野、豊かな森林に恵まれ、北の大自然と生きる幌延の町民です。

北緯45度の厳しい風雪に耐えて郷土の礎を築いた、先人たちの労苦に感謝するとともに、その意思を受け継ぎ、この町に生きることに誇りと喜びをもって、未来につなぐまちをつくるために、この町民憲章を定めます。

解説

前段部分は、幌延町の地理や自然といったものを表現しています。

後段部分では、町民憲章を制定する意義と目的、願いを表現しています。

幌延町には、天塩川やサロベツ原野、問寒別原野といった広大な自然があふれています。これらは先人が開拓の苦難を乗り越え築き上げたものであり、町民の誇りとして未来に継承する責任があります。

その誇りと責任をもって、協働のまちづくりを実践していく決意を表現しています。

本文

1 共に支え合い、力をあわせて、住みよい協働のまちをつくります

1 働くことに誇りをもち、地域資源を活かした活力あるまちをつくります

1 生命(いのち)を尊び、人を愛し、笑顔あふれる健康なまちをつくります

1 心身を鍛え、教養を高め、生きがいのある心豊かなまちをつくります

1 自然の恵みに感謝し、美しく、環境にやさしいまちをつくります

ご意見

①働くことに誇りをもち → 働くこと、この町に生活することに誇りをもち

②笑顔あふれる → 笑顔と安らぎのある

③生きがいのある → 町民すべてが生きがいのある

④美しく、環境にやさしい → 美しい自然環境を守る

ご意見

1 たがいに助け合い、未来に夢の持てる、住みよいまちをつくります

1 仕事に誇りをもち、生きがいに満ちた活力あるまちをつくります

1 人を愛して、笑顔があふれ、生命(いのち)が輝くまちをつくります

1 健康な体をつくり、豊富な知識で、文化の香るまちをつくります

1 豊かな自然を育て、美しく、環境にやさしいまちをつくります

又は、

1 町を愛して 星のように輝くまちをつくります

1 若者からお年寄りまで 活力あふれるまちをつくります

1 みんなで手をつないで 優しく住みやすいまちをつくります

1 学びに励んで 夢と希望に満ちたまちをつくります

1 豊かな自然を育てて 美しいまちをつくります

改訂案

- 1 共に支え合い 未来に夢を持ち、住みよい協働のまちをつくります
- 1 働くことに誇りをもち、地域資源を活かした、活力あるまちをつくります
- 1 生命(いのち)を尊び、人を愛し、笑顔あふれるまちをつくります
- 1 心身を鍛え、文化の香り高い、いきがいと希望に満ちたまちをつくります
- 1 自然の恵みに感謝し、美しい自然環境を守り、人に優しいまちをつくります

解説

- 1 共に支え合い 未来に夢を持ち、住みよい協働のまちをつくります

(町民と行政との協働のまちづくり)

幌延町は、住民と行政が協働でまちづくりを進めていくこととしています。まちづくりの主役はそこに住む住人が主役であるということを基本理念とし、互いに声をかけあい、温かいぬくもりのあるまちづくりを行うことを誓ったものです。

- 2 働くことに誇りをもち、地域資源を活かした、活力あるまちをつくります。

(夢と活力あふれるまちづくり)

生活の糧としての働くということのみならず、公共のことを自分のことと思い、みんなのために働くことに喜びと誇りをもつ人材を育て、幌延町らしさが輝く産業をつくり、守っていくことで活力あるまちにしたいという願いを込めています。

- 3 生命(いのち)を尊び、人を愛し、笑顔が輝くまちをつくります

(健やかに安心して暮らせるまちづくり)

「命は地球より重い」という言葉があります。しかし、近年は殺人やいじめなどによる自殺、高齢者の孤独死などの事件が連日のように報道されています。今だからこそ、命は何にも勝る宝なのだという思いを教え、育んでいくことが大事です。子どもから高齢者まで、全ての町民が安らぎを感じ、笑顔で暮らせるコミュニティづくりを目指します。

- 4 心身を鍛え、文化の香り高い、いきがいと希望に満ちたまちをつくります

(心豊かな人と文化を育むまちづくり)

「健全な精神は健全な肉体に宿る」という格言があります。心も身体も健やかで

あることが、生きていく喜びにもつながります。総合体育館やスポーツ公園を活用した健康づくり、心象館などの町の資源を活用した文化の発展などを通じ、生きがいをもって、常に学びつづける人づくりをしたいという願いをこめました。

5 自然の恵みに感謝し、美しい自然環境を守り、人に優しいまちをつくります (自然に恵まれ安全で快適なまちづくり)

幌延町は雄大な自然にあふれていますが、自然は一度破壊されると回復するのは容易ではありません。一方で、快適で衛生的な生活も必要不可欠なものです。自然と共生し、自然を守るだけでなく、花や木を植えるといった身近なところから自然を育て、住みよい町にしていくことを誓っています。